

表2 首都封鎖で減益可能性・中小企業

順位	企業名	業種	合計スコア	主な影響シナリオ(影響度合い)
1	クリエイト・レストランツHD	小売業	−324.00	レストラン需要減(−81)、外食需要減(−81)
2	ティーケーピー	不動産	−248.67	コールセンター稼働減(−81)、レンタルオフィス需要減(−81)
3	伊藤忠エネクス	卸売業	−243.36	ガソリン需要減(−67.7)、バイク需要減(−59.4)
4	東京会館	サービス	−243.00	ブライダル需要減(−162)、外食需要減(−81)
5	富士石油	石油・石炭製品	−238.50	物流需要減(−93.3)、ガソリン需要減(−85.1)
6	ゼットン	小売業	−237.65	レストラン需要減(−79.2)、ブライダル需要減(−79.2)
7	レオパレス21	不動産	−234.24	民泊需要減(−77)、レンタルオフィス需要減(−76)
8	サンオータス	小売業	−212.16	ガソリン需要減(−88.2)、自動車需要減(−77.8)
9	日本アセットマーケティング	不動産	−209.12	オフィス需要減(−113.9)、民泊需要減(−89)
10	日新商事	卸売業	−205.67	ガソリン需要減(−85.4)、自動車需要減(−57.2)
11	ツカダ・グローバルホールディング	サービス	−200.27	ブライダル需要減(−174.1)、ホテル需要減(−26.2)
12	三愛石油	卸売業	−199.32	ガソリン需要減(−81.9)、自動車需要減(−54.9)
13	J.フロントリテイリング	小売業	−197.26	化粧品需要減(−71.3)、紳士衣料需要減(−71.3)
14	一家ダイニングプロジェクト	小売業	−180.00	外食需要減(−62.3)、居酒屋需要減(−62.3)
15	ペッパーフードサービス	小売業	−179.99	レストラン需要減(−90)、外食需要減(−90)
16	ワイズテーブルコーポレーション	小売業	−179.83	レストラン需要減(−89.9)、外食需要減(−89.9)
17	パラカ	不動産	−178.20	駐車場需要減(−81)、自動車需要減(−81)
18	日特建設	建設	−175.01	鉄道需要減(−82.6)、オフィス需要減(−52.4)
19	オカムラ	その他製品	−174.75	オフィス需要減(−121.3)、レンタルオフィス需要減(−36.6)
20	RVH	サービス	−172.64	理美容サービス需要減(−84.2)、化粧品需要減(−84.2)

(注)HDは「ホールディングス」の略、影響シナリオはすべて東京におけるもの。時価総額は4月3日時点 (出所)ゼノデータラボ作成